

# 護川小学校 2015もりかわ 「心ふれあいフェスタ」

護川小学校は、11月14日に「心ふれあいフェスタ」を行いました。これは、地域学習の中で地域から学んだことを学年ごとに劇や、構成詩などで地域の人々をまねて発表するものです。各学年、工夫を凝らしたものがあり、3年生の発表では「護川の宝物さがし大作戦」と題し巨大な地図を作り上げ、6年生は長崎原爆被害体験記を劇として発表していました。観客である保護者や地域の人は「子どもたちがしっかり勉強してくれているのがわかりうれしい。」と話していました。



1 3年生の作った大きな地図は細かい道まで調べてありました  
2 地域学習の中で勉強してきたことを5年生はかかしにこめて発表をしていました  
3 6年生の劇では長崎の原爆被害にあった人の体験を大きな声で発表していました

# 室小学校 教育講演会「大村詠一さん」

室小学校は、11月10日、授業参観とPTA教育講演会を行いました。講師は1型糖尿病でエアロビック選手の大村詠一さんでした。実技披露では、普段見られない、床を大きく使ったダイナミックな演技に子どもたちだけではなく保護者からも歓声があがりました。講演では、1型糖尿病の説明に始まり、生徒たちと同じ年齢の時に感じたという「人と違う事への苦しみ」や「わかってもらう難しさや大切さ」を体験してきた気持ちそのままにわかりやすい言葉で話されました。子どもたちは最後までしっかりと大村さんの話を聞いて理解をしている様子でした。参加した保護者からは「糖尿病が誰でもなる可能性がある病気と聞いて驚いた。子どもたちが今日の話聞いて違いを認め合って、より優しく思いやりのある人に成長してほしい。」と話していました。



講演の前に大村さんの演技が披露されました  
講演会の合間に身体を動かす練習もあり大人も子どもも夢中

## 輝く人権

**国**では、12月4日から10日まで1週間を「人権週間」と定めて、全国的に人権に関する啓発活動が実施されます。

町や法務局でもこれに合わせて、人権講演会などを開催します。たくさんの方の参加をお待ちしています。(詳しくは左記のとおり)

● **「人権を考える女と男のつどい」**  
町では、表彰式、ワールドカフェ発表、人権講演会を行います。  
ワールドカフェとは、カフェのようになりラックスした雰囲気の中で、参加者が自由に会話を楽しみ、新たな発想や発見を生み出したり、お互いの理解を深めることができる話し合いの手法です。

● **「こころで結びあう」**  
フルメッセージ2015」  
法務局では、第一部と第二部にわけ、第一部に人権作文コンテストの表彰を行い、第二部に演奏と講演を2013年ウィーンで開催された「国際障害者ピアノフェスティバル」で金賞を受賞したピアニスト月足さおりさんに行っていたいただきます。

● **問い合わせ**  
役場人権推進課 人権推進係  
☎096(293)3122  
中尾由喜雄さん

● **問い合わせ**  
熊本市人権推進委員会  
☎096(364)2145

● **日時** 12月5日(土)  
午前9時30分～

● **場所** 町文化ホール

● **内容**  
男女共同参画啓発ポスター表彰式  
ワールドカフェ発表  
テーマ「自分の未来を考える」  
男女共同参画社会の実現をめざして、人権講演会

● **日時** 12月12日(土)  
第一部 午後1時  
第二部 午後2時30分

● **場所** 市民会館崇城大学ホール大会議室

● **参加費** 無料

● **申し込み・問い合わせ**  
熊本市人権推進委員会  
熊本市人権推進委員会  
☎096(364)2145



1 訓練で設置された総合防災訓練災害対策本部からは無線で各地への連絡が行われました  
2 煙体験コーナーでは火災がおきた時の視界の悪さが体験できます  
3 先端屈折式はしご車や消防団の資機材車の展示なども行われました  
4 炊き出しでは豚汁とご飯が振る舞われました

# 大津町総合防災訓練

大津町総合防災訓練が10月25日に行われました。今年の訓練は震度6の地震を想定したもので、当日は午前9時にサイレンが鳴り、各地区で避難訓練が行われました。役場内では災害対策本部の設置訓練が行われ、町の幹部職員が電話や防災行政無線などを利用して各地区からの情報を取りまとめました。その後、避難所の設置や災害想定(避難勧告)マニュアルの作成を行い、大津中央公園での訓練に合流しました。

午前9時30分からは大津中央公園で避難所運営訓練が実施されました。大津町食生活改善推進協議会の協力による炊き出し訓練では、ご飯と豚汁が振る舞われ、たくさんの方が試食しました。

菊池広域連合南消防署による煙体験コーナーでは、火災発生時の建物内を模擬体験でき、心臓マッサージやAEDの使い方の講習会も行われました。

訓練は地域の人も参加し、防災を考えるきっかけとなりました。

## 栄養士からの一言 【防災】 日常の備えがたいせつ!!

● **問い合わせ**  
役場健康保険課 健康推進係(町子育て・健診センター内)  
☎096(294)1075

10月25日、大津町防災訓練がありました。中央公園では、AED(自動体外式除細動器)・心肺蘇生・健康相談・炊き出しなどの訓練がありました。地震や水害などの災害発生に備え、国や自治体には非常食が用意されています。しかし、行き渡るまでには時間がかかります。万が一に備え、日常より各家庭に準備しておきましょう。

● **防災バッグ**  
非常持ち出し袋は、目につきやすい玄関などの出入り口に保管し、家族に知らせておきましょう。また車のトランクを備蓄の保管庫に使うのも一つの方法です。水や缶詰などを入れておきましょう。  
※普段食べている食品(缶詰など)もいざという時に非常食になります。備蓄の数を決めておき、賞味期限の近いものから消費し、消費した数を新たに購入するなどして確保しておくとい良いでしょう。

備蓄用に適した食品の例

主食	米 乾麺 カップ麺 パック御飯
主菜	魚缶詰 肉缶詰 レトルトカレー
副菜	大豆 切干大根 インスタント味噌汁 干しいたけ
飲料	水 パックジュース 缶ジュース
その他	キャンディ

**災害時に役立つパッククッキング(家庭版真空調理)**  
食材をポリ袋に入れて鍋に湯を沸かし加熱調理する調理法です。

ポリ袋で調理するため栄養や旨味が逃げません。鍋一つでさまざまな料理を作ることができ、不足しがちな栄養が摂れます。また、配給された食事を温めることもできます。

※薄く、熱に弱いポリ袋を使用した場合、ポリ袋が変形もしくは溶け出す可能性があるため使用するポリ袋には十分注意しましょう。

《パックを利用した料理法》  
①ポリ袋に調理する材料や調味料を入れます。(入れる量は1~2人分を目安にします。)  
②真空にするために鍋やボールに水を入れ①を袋ごと浸けます。  
③水圧で空気を抜く。さらにポリ袋をねじりながら空気を抜き上部で口を結び。  
④材料は平たく均一にしておきます。

**全粥(パッククッキング)(1膳分)**  
米.....30g 水.....150cc

**作り方**  
①米をポリ袋に入れる。  
②分量の水を加え、空気を抜いてポリ袋の口をしっかり結び、米に水分を吸わせませす。  
③沸騰した鍋に入れて加熱します。

**保存食になる切干大根の作り方**  
**作り方**  
①大根はよく洗って水けをきり、皮付きのまま10cm位の厚さに切り、縦5~7mm厚さに切ってから縦にせん切りにします。(棒状)  
②ざる、干しカゴなどに並べ、風通しをよくし、天日で干します。ただし、夜は湿気があるので室内に取り込みます。カラカラに乾いていたら出来上がりです。